

高性能ALPSサンプルタンクの 水移送について

2021/ 9/ 30

TEPCO

1. 高性能ALPSサンプルタンクの水移送について

【経緯】

- 1Fの多核種除去設備（ALPS）は、既設ALPS（2013年3月～）・増設ALPS（2014年9月～）高性能ALPS（2014年10月～）の3設備がある。 ※括弧内時期は各設備の運用開始時期を示す。
- これまで日々発生する汚染水に対しては、処理量の大きさ・調整のし易さの観点等から、増設ALPS・既設ALPSを稼働させ、高性能ALPSは待機としてきた。
- 今後は二次処理が発生する等、最適な設備運用を行うため、高性能ALPSを適宜稼働させる。

【準備作業】

- 高性能ALPSの稼働に向けては、高性能ALPSサンプルタンクに貯留されてるALPS処理水等（告示濃度比2程度）を事前に貯蔵タンク*に移送（約3,200m³）させる予定。

*移送に伴い、処理水ポータルサイト「告示濃度比総和別（推定）貯蔵量」に反映予定

【高性能ALPSサンプルタンク水移送スケジュール】



